

大会趣旨

日本の保育制度は教育機関としての機能をもつ幼稚園と、児童福祉施設としての機能をもつ保育所が併存する二元体制がとられていますが、待機児童問題や「保育を受ける権利」の不平等感、また認定子ども園や様々な形態での就学前保育が行われている中、国は幼保一体化に向けた新たな制度の検討を進めています。

このように保育が大きく変わろうとしている時に、私たち保育関係者は制度の動きに目を向けると共に、児童福祉法に基づく子どもの最善の利益を考慮した保育の展開を保育園、保護者そして地域の人々との連携を強めながら進めていくことが求められます。また、保育の軸がずれることのないよう主体は子ども、自ら伸びようとする力を信じ、育む環境を整えることが周りの大人の使命なのではないでしょうか。質の高い幼児期の教育を保障する意味でも、研修を通して保育に携わる者の学びの場にしてゆきたいと思います。

10月27日(木) 第1日目 12:00→13:00 受付・ガイダンス

12:00	13:00	13:30	14:30	15:00	15:15	16:45	18:00~
受付	開会式	行政説明	基調報告	休憩	記念講演	移動	懇親会

◆開会式

◆行政説明

テーマ 「未定」

講師 交渉中

◆基調報告

テーマ 「東日本大震災復興とその中での社会保障改革と『新システム』構築の重要性について」

講師 (公社)全国私立保育園連盟 常務理事 菅原 良次 氏

◆記念講演

テーマ 「相田みつを 子どもへのまなざし」

講師 相田みつを美術館館長 相田 一人 氏

◆懇親会